



ふれあいネットワーク

社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 広報紙

奈良県 福祉だより



2025

NO.571


CONTENTS

P 2-3 【特集】 インタビュー

この人に逢いたい! 聞きたい! 話したい!

「ほっと・はーと・なら」

この村で、ずっと暮らしたい
～東吉野村で“にぎわい”と
“看取り”を支える場所づくり～



特定非営利活動法人
東吉野村まちづくりNPO



P 4-5

「第13回
**なら小地域福祉活動
サミット2025**」を
開催しました。

人がつながり、まちを元気に!

P 6-7

福祉人材ニュース

- ・かいご「再就職」応援セミナー
2/21(土)
- ・福祉&保育のおしごとフェア
2026in奈良
3/8(日)
- ・福祉の職場見学ツアーを
開催しました

令和8年度より
研修管理システムを導入します

P 8

「小津こども
福祉基金運用事業」
こどもの未来応援プロジェクト



P 9

福祉で働く人の福利厚生を
支援しています。
社会福祉法人福利厚生センター
「ソウェルクラブ奈良」

奈良県社協会員施設の
役職員の皆さまへ
西日本自動車共済協同組合割引
のご案内

P 10

赤い羽根共同募金 情報

令和8年度 選べる募金
**奈良県ぴ～すぺ～す
プロジェクト募金**

P12

奈良県中央善意銀行へ
ご寄付・ご寄贈
ありがとうございました。

**ボランティアセンター
アカウント開設の
ご案内**

奈良県
社会福祉協議会



奈良
ボランティアネット



福祉だより



● この広報紙は、再生紙を使用しています。
● この広報紙は、共同募金の助成金を受けています。



この人に逢いたい!聞きたい!話したい!「ほっと・はーと・なら」

この村で、ずっと暮らしたい

～ 東吉野村で“にぎわい”と“看取り”を支える場所づくり～

奈良に縁のある多彩な分野で活躍されている方々にスポットをあて、活動への熱い想いと「福祉（幸せ）」についてお話をお伺いするこの特集。

今回は、最期まで安心して暮らせる場所づくりに取り組む東吉野村の特定非営利活動法人東吉野村まちづくりNPOさんにお話を伺いました。



▲左/辻本氏（理事長） 右/蛭原氏(代表)

【プロフィール】

蛭原氏（代表）を中心に『あいの家』を拠点として、子どもから高齢者まで幅広い世代に向けて、福祉・子育て・まちづくりなどの活動を展開。介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる環境づくりを目指しています。

複合型コミュニティとしての歩み

2006年	法人登記・過疎地有償運送事業	2016年	配食サービス
2010年	デイサービス/居宅介護支援	2017年	多機能ホーム
2011年	ホームヘルプサービス	2020年	多機能ホームサテライト
	障がい者福祉サービス	2025年	にぎわいハウス

Q

『あいの家』の取り組みを始めたきっかけは何ですか？

A

かつて東吉野村では、三世代で暮らす家庭が多くありましたが、今では多くの方々が村を離れ、空き家が目立つようになりました。平成の大合併では村の存続が決まりましたが、「どうすればこの村で暮らし続けられるか」という課題が残されました。

そこで、私たちは NPO を立ち上げ、村民の方々にアンケートを実施し、「買い物や通院が不便」「人と交流する機会が少ない」など、様々な声を聞きました。住み慣れた場所で最期まで暮らしたいという思いに応えるため、私たちは、施設を“家”のように感じられるような場づくりに取り組んでいます。

Q

「病院に行けない」「話す人がいない」—そんな声にどう応えましたか？

A

まずは移送支援から始めました。また、「一日誰とも話さないことがある」という声から、古民家を改修してデイサービスやホームヘルプ、ケアマネ事業、小規模多機能の施設を整備しました。さらに、近くの酒屋も改修し、カフェや軽食、カラオケが楽しめる場を設け、週1回の配食も行っています。



▲『古民家ライブハウス』



配食サービスのお弁当も、ここで手づくり!

▲『デイサービスあいの家』

Q 6月に新たに創設された『にぎわいハウス』にはどのような思いが込められていますか？

A 最期は自宅で過ごしたいと思っても、実際自宅での介護は大変です。私たちは、介護の力を借りながら「望む場所で最期を迎えられる」ことを大切にしています。

『にぎわいハウス』は、地域の中で最期まで自分らしく過ごせる「ホームホスピス」を目指しています。まだ正式にホスピスの名は掲げられていませんが、今後認証を得て、“あるがままに最期を迎えたい”という声に応えていきたいと思っています。



▲『にぎわいハウス』の外観

Q 活動を続けてきた今、どのような課題がありますか？

A 活動は始めるよりも、続けることの方がずっと難しいです。「なんとかなるわ」と思いながら続けてきましたが、目指す先が良いものであると信じているからこそ、共感してくれる人が増え、「安心できる場所」と思ってもらえるようになりたいと考えています。

本来は行政と連携し、公的資金でこうした取り組みをモデルとして継続できるようになることが理想です。そのためには、まずは私たちの活動を多くの人に「知ってもらうこと」が何より大切です。

毎回テーマを決めて、
会話のきっかけに



▲『にぎわいハウス』サロンの様子

Q やって来て良かったと思える瞬間はどんなときですか？

A お見送りをした際に、ご家族から「あいの家があってくれてよかった」と言っていただいたことがとても印象に残っています。地域の方にもこの建物の目的を伝えると、「良かった」「安心した」という声をいただき、そういう声は何よりも励みになっています。誰もが「自分がどこで最期を迎えるのか」ということに不安を抱えているのだと実感しています。

Q これからの展望や、読者へのメッセージを聞かせてください。

A スタッフは50名で、70代の方も多く活躍しています。ただ、これからは若い世代への引き継ぎが大切です。これからも、みんなが安心して暮らせる場づくりを進めていきます。

住み慣れた地域で介護や看取りを行うことを、「特別なこと」ではなく、「身近な選択肢」として知ってもらえるように伝えていきたいと思っています。



▲取材当日のスタッフの方々

スタッフ募集中

『あいの家』や『にぎわいハウス』の取り組みに興味のある方は下記までお気軽にご連絡ください。

- HP : <http://web1.kcn.jp/ainoie/>
- メール : ma75cr37@kcn.jp



人がつながり、まちを元気に！

第13回なら小地域福祉活動サミット2025

令和7年8月30日(土)

奈良県社会福祉総合センターで開催し、300名を超える参加者とともに、これからの地域づくりのヒントを共有しました。



基調講演

牧野 篤さん

大正大学 教授
東京大学 名誉教授

『『よきこと』をつなげる、『よき存在』になる
～ちいさな社会を愉しく生きるススメ～』



講演は「ふるさと」とは何かという問いから始まり、それを考えることは自分が社会でどうあるべきかを問うことだと語られました。続いて「Well-being (ウェルビーイング)」が紹介され、個人の幸せだけでなく、社会全体が幸せを感じられる状態をどう築くかが重要であり、それは「ふるさと」づくりにも通じると述べられました。

人には Compassion (コンパッション) という、悲しみや苦しみを分かち合う共感の力があり、これを基にした思いやりの連鎖が、人や社会への信頼を生み出すと話されました。日本には「おたがいさま」や「恩送り」の文化があり、これを広げることが今こそ必要だとも語られました。

また、高齢者への調査結果から、運動や栄養よりも社会参加が死亡率の低下に影響することが紹介され、顔が見える関係性の中で「よきつながり」を築くことの重要性が強調されました。こどもたちも教育の対象ではなく、地域の「仲間」として活躍している実例も紹介されました。

終盤には、PDCA ではなく「AAR (Anticipation/Action/Reflection)」という循環の考え方が紹介され、楽しさを原動力に行動し、失敗しても評価せずに工夫を重ねることが大切だと語られました。講演は笑いも交えながら、地域づくりへの多くのヒントを示して締めくくられました。

第1分科会

地域のご縁を再認識！

～ご近所さんと一緒にワクワクを見つける、ワクワクを続ける～

- 実践報告 中村 光美さん (奈良市/奈良市登美ヶ丘地区社会福祉協議会)
藤田 和郎さん (広陵町/馬見南5丁目 ふれあい喫茶)
今西 章さん (大淀町/馬佐地区 地域ふれあいサロン「絆」)
- コメンテーター 牧野 篤さん (大正大学 教授/東京大学 名誉教授)

地域のつながりが希薄化していると言われる今日においても、元気に活動続ける方々からの楽しい実践報告でした。ごちゃまぜの場づくり、参加者をそっと見守りつつもほうっておかない気配り、古くからの行事をまもる取り組みなど、それぞれの地元愛たっぷりなお話に、会場の方からの質問もたくさん出され、共感したり励まされたりしながら、未来志向でわがまちらしい地域活動への想いを共有しました。



●第2分科会

わたし発で始まる地域づくりの可能性

—居場所づくりの「きっかけ」や「地域での広がり」から紐解く

- 実践報告 田中 里穂さん、中嶋 和人さん（天理市／すきっぷ、杣之内町区）
仲林 参代さん（御所市／ごせ駅前ふれあいセンター）
西林 瑠実香さん、森戸 佳世さん（田原本町／だがし屋たわらぶ堂）

- コーディネーター 柴田 学さん（関西学院大学 准教授）

興味・関心といった動機付けをもとに「わたし発」で始まる活動に注目しました。3つの報告に共通するのは「楽しさ」、そして自治会や近隣、関係者などから得ている「理解と協力」でした。「わたし発」で始まった動きが、様々な人に影響を与え広がっていることも確認されました。地域には困りごとはつきものですが「なんとかしなければという使命感」だけでは上手くいかないこともあります。「わくわくする充実感」を起点に、頼れる人との「つながり」を大切にしていくことが、これからの地域づくりの可能性をひらくことに気づき、勇気づけられる分科会となりました。



●第3分科会

「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせを地域でつくる

～「ふくしきょういく」の関わりから生まれる共生の視点～

- 実践報告 藤本 尚美さん（奈良市／第一学院高等学校 奈良キャンパス）
植松 明夫さん（大和郡山市／治道地区社会福祉協議会）
米山 博章さん（大和郡山市／ポツンとフェス治道実行委員会）

- コーディネーター 渡辺 一城さん（天理大学 教授）

地域で共に生きる力を育む「ふくしきょういく」について、学校や地域での実践事例が報告されました。年齢や特性の違いを超えて互いを認め、支え合う中で、新たなつながりや地域の変化が生まれています。ワークショップでは、参加者が身近にある「ふくしきょういく」を再発見し、日常の中での共生や支え合いの大切さを改めて実感する分科会となりました。



●第4分科会

福祉視点にとらわれない共創実践

—関係人口が応援団！？あるものをかけ合わせて元気なまちづくり

- 実践報告 飯干 香織さん、仲尾 京子さん（宇陀市／宝ん家、NPO法人うだ夢創の里）
今井 匡さん、下村 綱起さん、荒川 明美さん、三木 幸さん（王寺町／達磨寺方丈ファンクラブ）
久住 一友さん（明日香村／森ある暮らしラボ）

- コーディネーター 宇城 絵美さん（NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター）

旧保育所や寺社、森林、空き家など、暮らしの中にある多様な場を活かしたまちづくり実践を通じて、地域づくりの新たな広がりを探りました。楽しさをみんなまで共有し、対話を重ねる関係性が、地域の枠を超えてゆるやかにつながる輪を生み出しています。居住地域にとらわれず、「できることをできるカタチで」関わり合う共創のあり方を、参加者と共有した分科会となりました。





福祉人材センターイベントのお知らせ



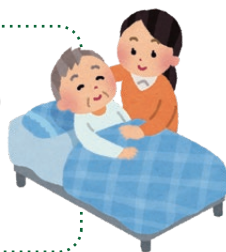
これからますます需要が高まる福祉と保育の仕事。未経験、無資格でも大歓迎！
ぜひお住まいの地域に貢献できる福祉・保育の仕事に挑戦しませんか？
福祉人材センター&保育人材バンクでは未来のお仕事探しを応援します！

参加費いずれも無料!お申込みはホームページをチェック!



かいご「再就職」応援セミナー

令和8年2月21日(土) 13:30~16:00
場所：奈良県社会福祉総合センター
6階中会議室



★約78の法人が出展予定!
就活に役立つイベントも
同時開催予定です!



福祉&保育のおしごとフェア 2026 in 奈良

令和8年3月8日(日) 11:00~15:30
場所：奈良県コンベンションセンター
1階コンベンションホール



おしごとフェアの
詳細はこちら!



福祉の職場見学ツアーを開催しました



令和7年9月23日(火・祝)に「福祉の職場見学ツアー」を開催し、社会福祉法人ならやま会、社会福祉法人奈良苑を訪問しました。利用者さんの日常の様子や、スタッフさんからの仕事のやりがいなどを教えていただきました。写真は当日の様子です!

奈良県福祉人材センターでは、福祉業界に興味のある方が福祉現場と繋がることができる取り組みを行っています!職場体験・見学も受付中!就職活動の一環としてぜひご活用ください!

施設ってこうなってるんですね!



利用者さんものびのびできますね!

(福)奈良苑さまでは希望者にお弁当をご用意いただきました!



機能訓練の現場を初めて見ました!



参加者の声

様々な施設を一日で見学できて、大変参考になりました。
とても分かりやすく、施設の違いや、現場で働いている方の話が聞けて良かったです。

お問合せ先

福祉人材センター 福祉人材係 TEL: 0744-29-0160

事業所様の人材育成に 貢献します



最新の研修のお知らせ！
研修申込、履歴確認が簡単！

研修のお申込みから履歴管理まで、手続きの方法が変わります

これまで、研修のご案内については、当センターホームページへの掲載、事業所様へは研修開催案内を郵送させていただいておりました。

これまで以上に幅広い福祉関連事業所様の人材育成にお役立ていただくとともに、受講手続きをより簡単に行っていただけるよう、「研修管理システム」を導入いたします。

「研修管理システム」では、これまでより簡単にお申込みが可能になり、お申し込み状況の確認、お申込み期間内での申込内容修正や、申込みキャンセル、二次元コードを利用した欠席連絡、オンラインでの課題提出など受講者の皆様に、よりスムーズに研修に参加していただけます。また、システム導入後は受講履歴が管理でき、事業所様の人材育成にも活用いただけます。

☆導入にともなう変更内容

研修のお知らせ

お申込み

受講決定のお知らせ

すべてシステム上でご確認いただけます！

申込の修正・キャンセル

受講履歴の確認



☆研修申込までの流れ

事業所登録申請

「研修管理システム」より
登録申請を行ってください。

ログインID・
パスワードの発行

ログインID・パスワードを
メールにて通知します。

ログイン
研修申込

研修管理システムにログ
インして研修に申し込み。

★システム利用の説明会を実施します

令和8年1月に研修管理システムの利用についての説明会を開催します。
詳細は当センターホームページをご確認の上、ぜひご参加ください。

ホームページ : <https://nara-shakyo.jp/pages/98/>





「小津子ども福祉基金運用事業」

こどもの未来応援プロジェクト

奈良県社会福祉協議会では、こどもの幸せを願う方からのご寄付をもとに「小津子ども福祉基金」を設立し、「こどもの未来応援プロジェクト」に取り組んでいます。プロジェクトでは高校生世代に対する支援に着目し、2つの支援策を進めています。プロジェクトの展開にあたり、今夏には追加のご寄付をいただきました。有難うございました。

2年目を迎えた取り組みの“現在地”をご紹介します。

「個別支援型」

高校生世代の未来を応援 — 2つの取り組み —

「間接支援型」

○高校生等通学定期代助成金

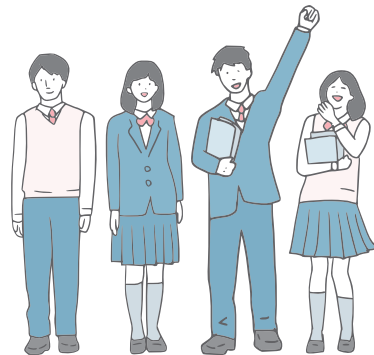
今年度もご本人や世帯への直接支援として、「高校生等通学定期代助成金」の支給に取り組んでいます。利用世帯の本人・保護者を対象にしたアンケート結果からは、「交通費の負担の軽減により、バスの利用などのより便利な通学方法を選ぶことができた」と実感いただけていることが確認できました。また、このプロジェクトを通して見えてきた高校生世代の現状や課題から、経済的支援の他にも、本人の悩みに寄り添って一緒に考える支援も必要であることがわかりました。

詳細はQRコードより
ご確認ください。



○高校生世代の居場所づくり助成金事業

子どもたちが安心して過ごせる「第3の居場所」が注目を集め、様々な居場所を提供する取り組みが各地で行われています。



支援につながりにくい高校生世代に特化した居場所づくりを応援する事業、「高校生世代の居場所づくり助成金事業」を進めています。これまでに県内で居場所づくりに取り組まれている団体や有識者の協力のもと、創設に向けての意見交換を重ね、また県外の先進的な取り組みの視察等を行いました。

この助成金を活用し、高校生世代の生きづらさや悩みをゆるやかに受け止められる場、一人ひとりが自分らしい一歩を踏み出すための自信を育む場が県内に広がっていくことを目指しています。

お問合せ先 地域福祉課「こどもの未来応援事業」担当 TEL 0744-29-0100

●●● 福利厚生センター (ソウェルクラブ) 加入のご案内 ●●●

ソウェルクラブは 福祉で働く人の福利厚生を支援しています。

「職員の確保・定着のために」ソウェルクラブをご活用ください。

- ◇契約対象者 社会福祉事業または介護保険事業を営業者
- ◇加入対象事業 社会福祉事業、社会福祉事業以外の介護保険事業
- ◇加入対象者 社会福祉事業等を営業者の法人内の役職員全員（非常勤職員含む）
- ◇会員の種類及び掛金 第1種契約対象職員…1人あたり毎年1万円
第2種契約対象職員…1人あたり毎年5千円
(利用サービスが限定されます)

全国会員数
27.3万人
奈良県会員数
2.3千人
(2025年3月末現在)

会員募集中

充実した
基本サービス

- ・生活習慣病予防健診費用助成 最大 3,800 円
- ・健康生活用品 毎年全会員に1品給付
- ・電話健康相談 無料
- ・お祝い（結婚・出産・入学・永年勤続など）商品又はギフト券
- ・弔慰金、見舞金

地域密着サービス

- ・会員交流事業（本県事務局事業）
会員同士の親睦やリフレッシュを目的としたグルメ、観劇、ツアーの実施
(ホテルレストランビュッフェ・東京リゾート1泊2日の旅など)

お得な
優待割引サービス

- ・指定保養所や提携宿泊施設など
- ・スポーツクラブ、スクール
- ・ソウェル保険（団体生命・総合医療保険・積立年金保険など）
- ・ソウェルクラブ “クラブオフ”

ソウェルクラブ
HP



お問合せ先 資料請求は、社会福祉法人 福利厚生センター(TEL 0120-292-711)まで、
お電話でお問い合わせください。
サービスの内容等詳細は、「ソウェルクラブ(<https://www.sowel.or.jp>)」で検索ください。

奈良県社会福祉協議会の会員施設、施設の役職員の皆さまへ

○西日本自動車共済（経済産業局認可）の自動車共済は

- ★会員施設のご契約は**福祉施設割引10%適用**（※適用には条件があります。）
 - ★会員施設で10台以上所有・使用する場合は**フリート契約**となります。
 - ・包括して割引を適用する包括方式と、個別に割引を適用する**共済独自の個別方式が選択できます。**
 - ★会員施設で働く役職員のご契約には**団体割引15%を適用!!**
 - ・他社でのノンフリート等級別割引・割増および事故あり係数適用期間を継承します。
 - ・奈良県社会福祉協議会の会員施設の役職員の方がご契約者となり、所有するマイカー（同居の親族が所有する自動車を含む）のご契約には**団体割引15%**が適用されます。
 - ★安心の大型補償とロードサービス&事故対応
 - ・対人「無制限」、対物「無制限」、人身傷害「無制限」が選べる
 - ・フリーダイヤルによる24時間事故受付体制、専任担当者による事故処理
 - ・すべての契約に24時間安心のロードサービスつき
 - ★充実の補償およびお得な割引制度
 - ・弁護士費用特約・他車運転特約・対物超過修理費用特約 他
 - ・新車割引・ASV割引・福祉車両割引・エコカー割引 他
- ※団体割引率は、団体のご契約台数と損害率により毎年見直され、変動する場合があります。
※共済種目や特約、各種割引、フリート契約、団体制度等の詳細は共済代理所または近畿事業部までお問い合わせください。



【共済代理所】

奈良県火災共済協同組合

奈良市西大寺南町 8-33 奈良商工会議所会館 4F
〒630-8214 TEL 0742-52-0082

承認番号 NJ600.2509.0111.260930

【引受組合】

西日本自動車共済協同組合

近畿事業部：大阪市中央区安堂寺町 2-1-10-430
TEL06-6765-9580

本 部：福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL092-441-5901



赤い羽根共同募金

つながりをたやさず支えあう社会づくり

情報

寄付の使いみちが
選べる
募金

赤い羽根募金 奈良県ぴ～すぺ～すプロジェクト募金

- 地域課題解決に取り組んでいる民間団体が奈良県共同募金会と協働で、活動のための寄付金を募ります。
- お寄せいただいた寄付金は、当該団体の活動資金として助成されます。



令和7年度参加団体メンバーほか

プロジェクト募金活動期間：令和8年1月1日～令和8年3月31日

①Aroma&Yoga Keina(奈良市)



ひきこもり・ろう者に寄り添う
お寺でのアロマヨガの開催

②なら学生支援の会(奈良市)



あなたにもできる「生きにくさを感じている大学生への支援」

③矢田っ子倶楽部(大和郡山市)



シニアがつどい、いきいきと活動する地域づくり

④みなも(橿原市)



子育て世代に寄り添い心と身体を
ほぐす無料カウンセリング

⑤Twilight Stars(桜井市)



精神障害を持つ人と持たない人との
相互理解を深める場所づくり

⑥特定非営利活動法人 T-seed(香芝市)



ホームスタートで、子どもを安心して
産み育てられる地域に!

⑦ニコニコ子ども食堂(葛城市)



子どもも高齢者もみんな「ニコニコ」
地域の居場所づくり

⑧子ども食堂いかるが(斑鳩町)



子ども食堂で人を思えるやさしい
気持ちをリレーしたい♡

⑨安堵子ども食堂(安堵町)



地域の居場所を育み、ほっとできる
居場所づくり

寄付の払込方法・手順

全国のゆうちょ銀行・郵便局の窓口において、「払込取扱票」により
手数料免除で払込みできます。

【口座記号番号】00980-6-300 【加入者名】社会福祉法人 奈良県共同募金会

★プロジェクト参加団体①～⑨の中から支援したい団体を選び(複数可)、「払込取扱票」の通信欄に「寄付先(丸数字)」を記載してください。

プロジェクトの
概要や各団体の
活動の詳細は
こちら



第19回赤い羽根歳末たすけあい新作カレンダー チャリティーバザーを開催します

令和8年1月9日(金)～12日(月) 奈良県立図書情報館
開催時間 10:00～17:00 (最終日のみ15:00まで)



PayPayによる
匿名寄付ができます



ホームページ

社会福祉法人 奈良県共同募金会

〒634-0061 橿原市大久保町320番11 奈良県社会福祉総合センター4F

TEL: 0744-29-0173 FAX: 0744-29-0174

E-mail: info@nara-akaihane.com



公式Instagram

令和7年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

	定員	基本補償(A型)
基本補償(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型) + 保険料	
	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円	

- 2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
- 2 使用者賠償責任補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償
- 5 役員・職員の傷害事故補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社
TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108 より抜粋)



ご寄付・ご寄贈

ありがとうございました。

地域福祉・ボランティア活動振興のため、奈良県中央善意銀行へご寄付をいただきました。
(令和7年5月16日～令和7年10月15日受付順、敬称略)

金銭預託

- 株式会社吉田稔商店
- 株式会社ホンダネットキンキ
- 奈良県遊技業協同組合
- 一般社団法人生命保険協会奈良県協会



一般社団法人生命保険協会奈良県協会 寄贈式



奈良県理容生活衛生同業組合 寄贈式

物品預託

- 大和ハウス工業株式会社奈良工場
- 奈良県理容生活衛生同業組合
- 株式会社ジェイテクト
- 株式会社東急コミュニティー



株式会社東急コミュニティー 寄贈式

奈良県中央善意銀行の寄付金は以下の活動に使わせていただいております。

- 地域福祉活動への助成
- 奈良子ども食堂ネットワーク
- 県内の交通遺児への取り組み
- フードレスキュー事業 等

お問合せ先 総合ボランティアセンター TEL: 0744-29-0155 FAX: 0744-26-0234

～奈良県社会福祉協議会「地域ささえあい基金」へのご寄付をいただきました～

本会では、令和6年4月に「地域ささえあい基金」を設置しました。
この基金は、社会的養護や生活支援を必要とする子ども、社会で孤立している高齢者や障がい者、自然災害の被災者などの生活支援を目的とする基金です。皆さまの温かいお志をお寄せください。
今年度10月末日までに、この「地域ささえあい基金」へ、3名の遺贈寄付のほか中村恵子様よりご寄付をいただきました。ありがとうございました。

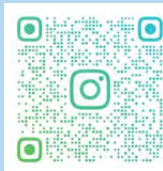
お問合せ先 総務企画課 TEL: 0744-29-0100 FAX: 0744-29-0101

奈良県総合ボランティアセンター公式アカウント開設のご案内!!

奈良県総合ボランティアセンターの取り組みや研修会のご案内、助成金情報など幅広く情報発信していきます。

福祉関係者に限らず、ボランティア活動、市民活動に興味関心のある方はぜひご登録ください!!

奈良県社会福祉協議会 総合ボランティアセンター 🔍



Instagram



Facebook



LINE

※2026年1月より、情報発信を開始予定!!

※2025年12月より、情報発信を開始予定!!



表紙に掲載のロゴは、法人化70周年を迎えられたことに対する皆様への謝意と「奈良の鹿」のように奈良県社協のことを皆様に認知していただけるよう、民間の協議体組織として「奈良県の地域福祉推進のために邁進していく」という意志を表現しました。

【お詫びと訂正】
内容に誤りがございましたので、以下のとおり訂正し、お詫び申し上げます。
訂正箇所：奈良県福祉だよりNo.570号P3の下
誤記内容：児島氏（自治会長）
訂正内容：児島氏（ふれあいクラブ会長）

発行所/社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会 〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11

TEL.0744-29-0100(代) FAX.0744-29-0101

編集者/事務局長 井ノ上 晶 ■発行/年4回 ■定価/1部10円(会員の購読料は会費に含む) ■印刷所/やまとびと株式会社